

2024年1月4日

2024年 社長年頭の挨拶（要約）

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、新年にあたり、社長の野崎 明より従業員に向けて年頭の挨拶を行いましたので、その要旨を下記の通りお知らせします。

本年の経営方針

1. やるべきことを明確にし、積極果敢に行動する

事業課題への対応や成長戦略の実現のため、組織や職場の目指すべき目標と自らがやるべきことを明確にして、積極的な挑戦を続けていくことが重要です。常に創造力、構想力、行動力を発揮してアイデアを形にしていきたいと思います。

2. あるべき基本を取り戻す

あらゆる事柄について基本に立ち返り、何が重要で本質は何であるかを問い続けていただきたいと思います。特に、コロナ禍により暫定的に休止あるいは変更した仕事のルールや進め方などについて、その是非を吟味し、あるべき姿を追求していただきたいと思います。

本年の目標

1. 2021年中期経営計画（21中計）の総仕上げと2024年中期経営計画（24中計）の策定

2024年は「21中計」（対象年度：2022年度～2024年度）の最終年度であり、これまでの取り組みを完遂させ、成果を挙げるとともに、次の「24中計」に繋げていく年となります。「21中計」の主要施策に対するこれまでの成果は十分とはいえず、危機感を持って事業戦略を見直し、現在の立ち位置との差を埋めるため、「24中計」における施策の具体的な検討を進めていく必要があります。また、企業価値の最大化を図るべく「資本コストや株価を意識した経営」の実現を目指して、資本効率（ROCE）改善のための取り組みを進めていきます。

2. 「2030年のありたい姿」の実現に向けた活動の推進

当社グループは、「2030年のありたい姿」に向けて多岐にわたる活動を進めてきました。2024年は、サステナビリティ課題に対して高まる社会的要請への対応と、KPIの具体化を含めた「2030年のありたい姿」を見直し、その実現に向けた活動を加速させていきます。みなさん一人ひとりが各課題に対して当事者意識を持ち、その解決に向けて積極的に取り組んでいくようお願いいたします。

3. 経営基盤の強化

安定した事業運営に必要な経営基盤の構成要素は安全確保と環境保全、コンプライアンス、そして「人」です。

社員とご家族の幸福と将来を守るため、安全確保は会社の義務です。特に、重篤災害撲滅を目指し、様々な面から取り組みを進めます。「災害ゼロ」達成には、全社員が安全意識を高め、絶対に災害は起こさないという強い決意で活動することが必要です。

環境保全については、変化点や非定常時の予防・緩和策も含め、引き続きリスク低減に向けた対策を推進します。また、国際的な諸基準に沿った各種対応にも注力していきます。

コンプライアンスは、法令の改正、社会や環境の変化を踏まえ、これまで問題が無かったことでも、それがコンプライアンスに適ったものかどうか常に意識して行動することが大切です。当社グループのコンプライアンス実現の主役は自分であるという自覚を持ち、節度ある行動を心掛けるとともに、モラルに反する行為は厳に慎んで下さい。

また、経営方針に掲げる「やるべきことを明確にし、積極果敢に行動する」ためには、従来から当社を目指している「自由闊達な組織風土づくり」がその基盤として何よりも重要です。上下関係にとらわれず全社員が意見を自由に述べられる風土こそ、積極的な挑戦と創造的なアイデア具体化に必要なことです。その支援をするため、様々な取り組みを進めていきます。



以上

<本件に関するお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705